

# 日本加速器学会年会・論文投稿要領

## PREPARATION OF PAPERS FOR ACCELERATORS CONFERENCES

丸井花子<sup>\*A)</sup>、真直太郎<sup>A)</sup>、加速粒子<sup>B)</sup>  
Hanako Marui<sup>\*A)</sup>, Taro Masugu<sup>A)</sup>, Ryushi Kasoku<sup>B)</sup>

<sup>A)</sup>One of Accelerator Facilities

<sup>B)</sup>Office of Particle Accelerator Society of Japan

### Abstract

This template was prepared in order to describe a paper in Japanese. Please use the template of JACoW for English paper writing. If you write texts in this .tex file directly, you can complete a paper easily by TeX. However, specification of titleblockheight is required. When you change the completed paper into PDF, please be sure to embed all the fonts. The number of pages of a paper must be 2~5 pages. Please keep in mind that the paper style of PASJ2016 was changed as follows. 1) Write a title and the author's name in Japanese and English. 2) Describe Figures and tables and those captions in English. When you create an English summary and figure captions using translation software, please refer to notes in the following texts. (Translated by Excite)

### 1. はじめに

PASJ2016 から論文のフォーマットが次のようになっていますので、十分ご注意ください。

- ・タイトルおよび著者名は日本語と英語を併記。
- ・図表とその説明文は英語で記述。

尚、要旨や図表の英文を翻訳ソフトを使用して作成する場合は、3.13 を参考にしてください。

その他、以下についてもご注意お願い致します。

- ・PDF に変換する際は、必ず全てのフォントを埋め込むこと。
- ・原稿枚数は、2~5 ページ。

論文は、英語か日本語で記述していただきます。英語の場合には、JACoW の書式に従ってください。JACoW 形式のテンプレートは JACoW のホームページ [1,2] からダウンロードできます。

以下の説明はすべて日本語で記述する場合のものです。日本語で記述する場合にも、JACoW の書式を日本語化したもの [3,4] に準じていますが、Web での公開に伴い英語による検索・参照に対応できるよう、論文題名・著者名・所属・要旨・図表とその説明文は、必ず英文を入れてください。

以上の理由により、JACoW とは若干書式が異なります。以下、説明文書を熟読の上、正しい書式の原稿を完成させるようお願い致します。その他、質問等は加速器学会事務局 (gakkai@kasokuki.com) にお尋ねください。

### 2. テンプレートを使った原稿の書き方

本 TeX 用テンプレートは、羽島良一氏（日本原子力研究開発機構）が JACoW の TeX 用テンプレートを元に 2004 年に作成したリニアック技術研究会論文用 TeX ファイル [5] 及びクラスファイルを、加速器学会の書式に合うように修正したものです。

\* gakkai@kasokuki.com

本テンプレートは、本文が記載された TeX ファイル TeXtemplate2016.tex、および書式の細部が記述されたクラスファイル PASJ2016.cls そして画像ファイル JACpic\_mc.pdf, chart.png, chart2.jpg から成っています。論文執筆にあたっては、TeXtemplate2016.tex ファイルに直接書き込むか、別のテキストを挿入するのが一番簡単です。本テンプレートのエンコーディングは UTF-8、改行は LF です。エンコーディングを Shift\_JIS 等に変更されたい方は mi [6] 等のテキストエディタを使用してエンコーディングを変更して下さい。

原稿は、2~5 ページで執筆してください。

書式の詳細や書き方の注意は、第 3 章に記載されています。また、JACoW の web ページ [7] には、論文執筆に役に立つ情報が多く記載されていますので、是非参考にしてください。

### 3. 原稿の書式と書き方

#### 3.1 用紙の設定

用紙の大きさは A4、本文は 2 段組（2 カラム）とします。余白等の詳細は Table 1 および Fig. 1 の通りです。

Table 1: Document Layout

Paper size	A4 (210mm × 297mm)
Margin	Top : 37 mm, Bottom : 19 mm Left : 20 mm, Right : 20 mm
Column	2 columns Width : 82.5 mm, Spacing : 5.0 mm

#### 3.2 スタイルと使用フォント

フォントは、図も含めて、できるかぎり明朝 (Mincho) 系、ゴシック (Gothic) 系、Times 系に限定してお使いください。LuaTeX では \usepackage{luatexja-fontspec} でフォントを指定出来ます。本テンプレートでは日本語メインフォントを IPAex 明朝（但し太字は IPAex

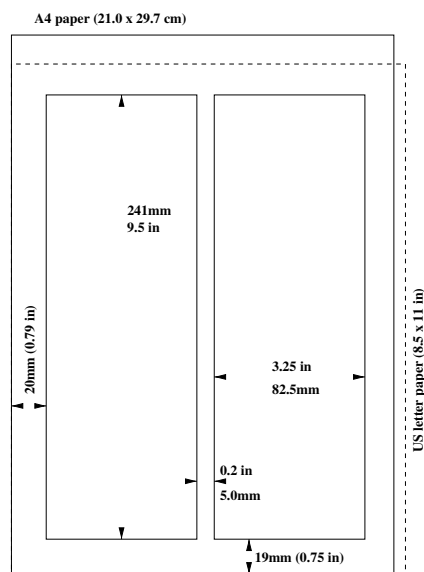


Figure 1: Document layout.

ゴシック) 日本語サンセリフフォントを IPAex ゴシックとしていますが、フォントが PC 内に存在しない場合は他のフォントを使用して下さい。

尚、日本語  $\text{\TeX}$  のフォントファミリーは明朝系(セリフ/メイン)及びゴシック系(サンセリフ)の2つで、フォントシリーズは標準(Medium)のみ、太字(Boldface)はありません。英数字のフォントファミリーは Times 系を使ってください。 $\alpha\beta\gamma$  等のギリシャ文字には数式モード  $\text{\$}\alpha\text{\$}\text{\$}\beta\text{\$}\text{\$}\gamma\text{\$}$  を使用して下さい。

本テンプレートの書式は Microsoft Word 用に定義されたスタイルに準じていますが、完全に同じではありません。各スタイルのフォントサイズは Table 2 の通りです。

PDF に出力した時の一行の高さが Word とほぼ同じになるように、クラスファイル中でフォントサイズ Large, large, normalsize, tabsmall など を再定義しています。

### 3.3 論文題名・著者・要旨

論文題名および著者名は、日本語英語併記となりますので十分ご注意ください。ただし、著者所属および要旨は従来通り、英文のみです。

書式は以下の通りです。

- 日本語論文題名はゴシック系 14pt、すぐ次の行に英語論文題名を全て大文字で Times 系太字 12pt、文字間隔は 6pt。
- 日本語著者名、英語著者名、英語所属機関名の順に、それぞれを改行で区切り、頭文字のみ大文字。フォントサイズは専用に PASJ2016.cls でサイズ 10pt 行間 16pt の authorf を定義している。
- 所属機関の所在地は不要。
- 所属機関が複数の場合は、A, B, ... と上付参照記号を振って下さい。
- 代表者の電子メールアドレスを脚注に記載する

場合は、例のように上付参照記号 \*, †, # 等を付けてください。

- 要旨は英語で記述し、イタリックで *Abstract* と見出しをつけること。

### 3.4 本文

本文の始まる位置(上から測った高さ)を指定する必要があります。この TeXtemplate2016.tex ファイルプリアンブル中の  $\text{\setlength}\{\text{\titleblockheight}\}$  を指定してください。

本文は2段組で記述します。フォントは、10ptの明朝系を使用してください。必要に応じて、ゴシック系を適宜使用してください。

### 3.5 章の見出し

各章の見出し、小見出しには必ず番号を付けてください。見出しのフォントはゴシック系 12pt を、小見出しは明朝系 10pt をお使いください。

尚、本テンプレートでは、見出し、小見出しに自動的に番号を振るようになっています。

### 3.6 箇条書き

箇条書きの部分は、 $\text{\begin}\{\text{Itemize}\}$  および  $\text{\end}\{\text{Itemize}\}$  ではさんでください。

Itemize を itemize とすると、各項目の間隔が広がります。

### 3.7 図表の挿入

PASJ2016 では、図および表とそれらの説明文(キャプション及びタイトル)は英語で記述してください。注意点は以下の通りです。

- Figure Caption 及び Table Title の始まりを、図は「Figure 1:」、表は「Table 1:」などとし、「Fig. 1:」等は不可とします。
- Table の Title 記述にあたってはキャピタライゼーション・ルールに関する解説([8]のTitlesの項目)を参考に、
  - 1) タイトルの始めと終わりの単語の頭文字を大文字
  - 2) 名詞、代名詞、動詞、形容詞、従属接続詞、副詞は、頭文字を大文字
  - 3) 冠詞、等位接続詞、前置詞と不定詞の to を小文字
 を基本とするようお願いします。
- Table 1 の例では、表本体の部分を  $\text{\begin}\{\text{tabsmall}\}$  および  $\text{\end}\{\text{tabsmall}\}$  ではさみ、フォントサイズを小さめ(9pt)、一行を広め(16pt)に指定している。
- Figure の Caption には文末にピリオドが必要です。
- Figure 1 の例では、PDF を幅 55mm に貼り込んでいる。この例では、 $\text{\begin}\{\text{figure}\}$  の位置指定オプションに hbt を付け、「その位置」への挿入を優先するよう指定している。
- Figure 2 の例では、subfloat を定義して図を二枚並べている。図の位置は tbp として上か下、あるいは次のページを指定している。

Table 2: Definition of Text Styles

Style	J-Title / TITLE	J-Author / Author	Section title / Subsection title	Text	Table / Caption	References
Fontfamily	Gothic / Times	Mincho / Times	Gothic / Mincho	Mincho	Times / Times	Mincho
Fontseries	Med. / <b>Bold.</b>	Med. / Med.	Med. / Med.	Med.	Med. / Med.	Med.
Fontsize	14pt / 12pt	10pt / 10pt	12pt / 10pt	10pt	9pt / 10pt	9pt
Size name	Large / large	authorf / authorf	large / normal.	normal.	tabsmall / normal.	small
B.Lineskip	19.6pt / 16.7pt	16pt / 16pt	16.7pt / 14pt	14pt	16pt / 12pt	11pt

- Figure 2 の例では、PNG と JPEG ファイルを各幅 80mm に貼り込んでいる。
- 横二段に渡る図を入れる場合は、`\begin{figure*}` および `\end{figure*}` のように figure の次に \* を付けて指定する。表についても同様に `\begin{table*}` および `\end{table*}` とする。ただし、1 ページ目に横二段の図表を挿入することは出来ないのに注意。
- Figure の Caption や Table の Title 配置は、それが一行に収まる場合はセンタリング、二行以上は両端揃えに。尚、本 TeXtemplate2016.tex ファイルプリアンブル中の `\abovecaptionskip` 及び `\belowcaptionskip` で、図キャプション表タイトルの上下それぞれに 3pt の空間を設定している。

### 3.8 図作成における注意

- 図のフォーマットはビットマップが一番確実で、以下のように選ぶと、美しさとサイズのバランスが最適。  
写真：JPEG  
CAD 図・グラフ等：PNG (TIFF も可)
- PNG は GIF を拡張した優れたビットマップフォーマットで、線画等を劣化無くコンパクトに圧縮できるため、強く推奨する。Figure 2 は、円グラフを PNG と JPEG に変換した例で、いずれも約 12 kB のサイズであるが、JPEG では画質が大きく低下している。
- 写真やグラフは、そのファイルサイズが大き過ぎると表示に時間が掛かり、閲覧者のストレスとなる。なるべく小さなファイルとなるようにご協力ください。特に EPS のデータは、作り方によってはとても大きくなることがあるので注意してください。
- 論文を原寸で印刷する場合、PNG や JPEG の図の分解能は、特に文字が小さくない限り最低 300dpi 有ればよく、この場合一段分の幅は約 1000 ドットに相当する。
- グラフ作成ソフトにより多数の点をプロットして描いたグラフをそのまま論文に貼り付けると、論文のデータサイズが大きくなり過ぎるため、プロットするデータを間引くか、上記のように PNG 等のビットマップに変換する等して、データサイズを小さくしてください。
- 図表はカラーでも良いが、モノクロプリンタで印刷する場合でも読者に理解できるよう、配色

に注意してください。

- 尚、図の中であっても所定のフォント以外は使用しないこと。

### 3.9 図及び表の参照

本文中で図を参照する場合は、Figure 1 のように記述して下さい。但し、文頭になれば Fig. 1 のようでも構いません。また、本文中で表を参照する場合は、Table 1 のように記述して下さい。

### 3.10 数式の挿入

数式は、 $\text{\TeX}$  のコマンドを使って作成し、必要なら数式番号を (1) のように振ってください。

$$E = \frac{m_0 c^2}{\sqrt{1 - \beta^2}} \quad (1)$$

### 3.11 文献・URL の参照

記事に関連する説明等を補足するために文献及び URL を参照する事をおすすめします。本文中で参照する文献及び URL には通し番号を振り、カギ括弧 [3] [4] を使用してください。

### 3.12 参考文献リスト

参考文献は、9pt の明朝系（英文の場合は Times 系）で記載してください。

文献のみ記述の場合 [3]、最後はピリオド「。」で終わります。

文献が既に電子出版されている場合 [5]、URL を併記してください。その場合、参考文献記述の最後はセミコロン「;」とし、その後 URL を続けて記述してください。URL 記述の最後にはピリオド等を入れないでください。

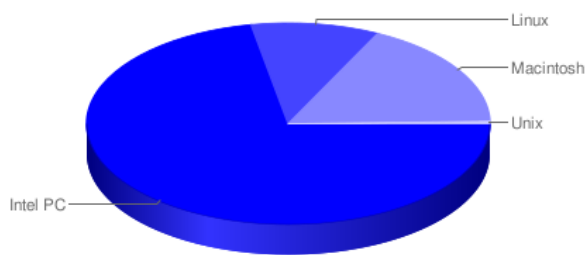
URL のみ記述の場合 [4]、最後にはピリオド等を入れないでください。

URL が長過ぎて一行に収まらない時 [9] は、途中にスペースを入れるなど二行に渡るようにしてください。

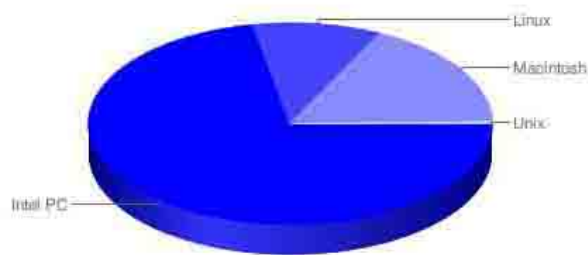
### 3.13 自動翻訳利用の際の注意

要旨や図の日本語説明文をウェブサイトの自動翻訳を利用して英文に変換する場合、いくつか注意をすることでかなり英文を理解しやすくなります。その注意を以下に列挙します。

- 技術論文の場合、一般的なサイトの中では Excite の英訳が比較的良好な結果を与えるようだ。



(a) PNG image (430 × 200)



(b) JPEG image (430 × 200)

Figure 2: These examples are the circular charts showing the shares of PC's OSs used to write the papers for IPAC10. (Publishing approved by JACoW)

- 自動翻訳システムが誤解なく理解しやすい文を入力すること。そのような文を書くに当たっての注意は以下の通り。尚、一般にそのような文は、我々から見ればくどくて不自然である。

- 一つの文は出来るだけ短くする。
- 主語を省略せず明確にする。
- 省略した表現や名称を使わない。
- 専門用語等は初めから英語にしておく。
- 名詞を他の名詞の形容詞として使う場合、語順や名詞間にいる「の」等の言葉により翻訳結果はかなり異なる場合がある。
- くどくても、未来や過去など時制が明解な表現とする。

- いかに上記の注意をはらっても、不自然あるいは不正確な英訳をなくすことは出来ない。むしろ、著者が上記の観点からすぐに不適切と分かる日本語をまず修正してから自動翻訳し、その後英訳を修正するほうが早い。

- 特に日本語にはない冠詞や複数形は自動翻訳では不正確なので、著者が修正する必要がある。

このテンプレートの Abstract は、以下の文章【Abstract 翻訳元の日本語要旨】を Excite の翻訳ページで英語に変換したものです。日本語の表現を若干工夫して、なるべく理解できる英語になるようにしてありますが、翻訳された英語は一切修正していません。【Abstract 翻訳元の日本語要旨】

本テンプレートは論文を日本語で記述するために用意されました。英語論文執筆には JACoW のテンプレートをお使いください。あなたがこの .tex ファイルに直接 texts を書き込めば、 $\text{\TeX}$  で論文を容易に完成させることができます。ただし、titleblockheight の指定が必要です。完成した論文を PDF に変換する際は、必ず全てのフォントを埋め込んでください。論文のページ数は、2~5 ページでなければならない。PASJ2016 の論文スタイルが次のように変更されましたので、ご注意ください。1) タイトルおよび著者名は日本語と英語で書くこと。2) Figures and tables とそれらの captions は英語で記述すること。英語の要旨

や figure captions を翻訳ソフトを使用して作成する場合は、以下の本文中の注意事項を参考にしてください。

## 4. 原稿の仕上げと投稿

### 4.1 チェック項目

- 代表者メールアドレスが正しく脚注にあるか。
- ページ番号やヘッダー、フッターを入れない。
- 章や図表を参照する番号は正しいか。
- 文献番号は正しいか。
- シンボルがアルファベットに化けていないか。
- 原稿のメモリサイズが大き過ぎないか。(目安として 10MB 以下)

### 4.2 PDF ファイルの作成

PDF ファイルの作成は  $\text{\TeX}$  アプリケーションから直接行って下さい。Mac 及び Windows の OS を使用されている方は、 $\text{\TeX}$  Live [10] [11] の使用をおすすめします。テンプレートは 2 種類 ( $\text{\TeX}template2016\_Lua\text{\TeX}.tex$  及び  $\text{\TeX}template2016\_p\text{\TeX}.tex$ ) あります。

**4.2.1 MacOS 且つ Lua $\text{\TeX}$  の場合**  $\text{\TeX}Shop \rightarrow$  環境設定  $\rightarrow$  書類  $\rightarrow$  設定プロファイル  $\rightarrow$  up $\text{\TeX}$ (ptex2pdf) を選び、タイプセット  $\rightarrow$  pdf $\text{\TeX}$  を選んで下さい。

**4.2.2 MacOS 且つ p $\text{\TeX}$  の場合**  $\text{\TeX}Shop \rightarrow$  環境設定  $\rightarrow$  書類  $\rightarrow$  設定プロファイル  $\rightarrow$  up $\text{\TeX}$ (ptex2pdf) を選び、タイプセット  $\rightarrow$   $\text{\TeX}$  + DVI を選んで下さい。

**4.2.3 WindowsOS 且つ Lua $\text{\TeX}$  の場合**  $\text{\TeX}works \rightarrow$  タイプセット  $\rightarrow$  LuaLa $\text{\TeX}$  を選んで下さい。

**4.2.4 WindowsOS 且つ p $\text{\TeX}$  の場合**  $\text{\TeX}Wiki$  [9] 等のページを参考にして pLa $\text{\TeX}$  のタイプセットを作成して下さい。

PDF ファイルにフォントが埋め込まれているかどうかは、Adobe Acrobat Reader DC など文書のプロパティを見れば確認できます。

### 4.3 投稿

原稿の  $\text{\TeX}$  ファイル、図のファイル及び完成した PDF ファイルを、定められた期日までに年会ホームページからアップロードしてください。

### 参考文献

- [1] <http://www.jacow.org/Authors/MSWord>
- [2] <http://www.jacow.org/Authors/LaTeX>
- [3] H. Kobayashi *et al.*, “第 26 回リニアック技術研究会論文投稿要領”, Proceedings of the 26th Linear Accelerator Meeting in Japan, Tsukuba, Aug. 2001, pp. 0-0.
- [4] <http://conference.kek.jp/LAM26/lam26template.pdf>
- [5] R. Hajima, “Emittance Compensation in an ERL Merger”, Proceedings of the 29th Linear Accelerator Meeting in Japan, Funabashi, Aug. 2004, pp. 432-434; [http://www.pasj.jp/web\\_publish/pasj1\\_lam29/proceedings.html](http://www.pasj.jp/web_publish/pasj1_lam29/proceedings.html)
- [6] <http://www.mimikaki.net/>
- [7] Electronic Processing of Submissions; <http://www.jacow.org/index.php?n=Authors.HomePage>
- [8] <https://en.wikipedia.org/wiki/Capitalization>
- [9] <https://texwiki.texjp.org/?TeXworks%2F%E8%A8%AD%E5%AE%9A>
- [10] <https://tug.org/mactex/>
- [11] <https://www.tug.org/texlive/acquire-netinstall.html>